

令和4年

第16回教育委員会会議

議案第39号

秋田県教育委員会

議案第39号

令和5年度秋田県教育委員会定期人事異動方針（案）について

令和5年度秋田県教育委員会定期人事異動方針を別紙のとおり決定する。

令和4年10月28日提出

秋田県教育委員会教育長 安田 浩幸

理 由

令和5年度秋田県教育委員会定期人事異動を実施するに当たり、異動方針を決定する必要がある。これが、この議案を提出する理由である。

令和5年度秋田県教育委員会定期人事異動方針（案）

令和4年10月28日
秋田県教育委員会

令和5年度定期人事異動については、「第3期あきたの教育振興に関する基本計画」のもと、様々な教育課題等に的確に対応しながら力強い教育活動を推進するとともに、教育行政の効率的な運営を確保するため、次の方針により行うものとする。

1 基本方針

(1) 学校に勤務する教職員（事務職員を除く。以下(1)において同じ。）

① 適正な人員配置

教職員が能力を最大限に発揮できる勤務環境の整備と地域間・学校間における均衡に配慮した人員配置を行う。

② 積極的な人事交流

学校経営の活性化、教職員の資質能力の向上を図るため、他校種及び他機関との間の人事交流並びに広域にわたる人事交流を積極的に行う。

③ 管理職への積極的な登用

学校のマネジメントを強化し、組織として教育活動に取り組む体制を創り上げる観点から、意欲ある有能な人材を積極的に登用する。

④ 家庭生活と仕事の両立支援

育児・介護等に取り組みやすいよう人事配置に配慮する。

※ 市町村立小中学校及び義務教育学校の教職員の人事異動に当たっては、次の点に留意し、市町村教育委員会との連携を図る。

(7) 市町村教育委員会が主体性を発揮し、より責任を持って特色ある学校づくりを推進できるよう配慮する。

(4) 学校における働き方改革の観点から、市町村教育委員会が取り組む業務改善や、教職員の意欲と能力を最大限発揮できる勤務環境の整備を支援する。

(2) 教育庁及び学校以外の教育機関（以下「教育庁等」という。）に勤務する教職員並びに学校に勤務する事務職員

① 適正な人員配置

各所属の業務内容、業務量及び班体制等を精査し、事務・事業を適正かつ効率的に実施できる体制を整備する。

② 積極的な人事交流

行政に対する様々なニーズを把握し、幅広い視野で仕事に取り組める人材を育成するため、人事交流や職員派遣を積極的に行う。

③ 管理職への積極的な登用

教職員の士気を高め、組織に活力を与えるため、意欲ある有能な人材を積極的に登用する。

④ 家庭生活と仕事の両立支援

育児・介護等に取り組みやすいよう人事配置に配慮する。

2 実施方針

(1) 学校に勤務する教職員（事務職員を除く。以下(1)において同じ。）

- ① 同一校に長年勤務した者及び同一地域に相当年数勤務した者は、異動の対象とする。ただし、異動の対象となっていない者であっても、職務上の必要性等を考慮し、異動の対象とする場合がある。
- ② 教職員の配置に当たっては、地域間・学校間の教職員構成のバランスを考慮し広域交流を行う。特に管理職については、全県的視野に立った広域交流を行う。
- ③ 小学校、中学校、義務教育学校、高等学校及び特別支援学校との間で校種間の交流を行う。
- ④ 他道県や秋田大学教育文化学部附属学校等との間で教員の交流を行うとともに、知事部局との間においても交流を行う。
- ⑤ 天災等の緊急時に迅速に対応できるよう教職員の配置に配慮する。
- ⑥ 管理職への登用に当たっては、教職員の組織管理や勤務時間管理、健康安全管理等をはじめとするマネジメント能力を備えた意欲ある有能な人材を積極的に登用するとともに、各学校において特色ある教育活動が十分に展開されるよう配慮する。
- ⑦ 新規採用者については、初任者研修の実施や地域間・学校間の教職員の構成等を考慮し、配置する。
- ⑧ 教職員の育児・介護等の状況に配慮した人事配置を行う。

※ 市町村立小中学校及び義務教育学校の教職員の人事異動に当たっては、市町村教育委員会と連携し、次の点に留意して進める。

- (ア) 加配定数の一部を各市町村教育委員会に枠内示し、その活用も含め、市町村教育委員会の基本構想に基づき協議を行う。
- (イ) 同一市町村内の転任については、市町村教育委員会が自らの人事異動構想に基づき主体的に取り組むことができるよう配慮する。
- (ウ) 異なる市町村への転任については、県教育委員会の人事異動構想に基づき、各市町村教育委員会の意向を踏まえて取り組む。

(2) 教育庁等に勤務する教職員及び学校に勤務する事務職員

- ① 同一の課所・学校に一定年数勤務する者及び同一の課所・学校に3年勤務する新規採用事務職員（教育行政・教育事務）は、原則として異動の対象とする。ただし、異動の対象となっていない者であっても、職務上の必要性等を考慮し、異動の対象とする場合がある。
- ② 学校に勤務する事務職員にあつては、総務・財務等の専門性を発揮できるよう配慮するとともに、会計事務、契約事務等の適正執行に留意した人員配置とする。
- ③ 教育庁等、県立学校、市町村立小中学校及び義務教育学校並びに知事部局等との間において人事交流を行うとともに、特に未経験の分野を中心に幅広い職務を経験させる。
- ④ 管理職への登用に当たっては、意欲ある有能な人材を積極的に登用する。
- ⑤ 新規採用者は、職員の構成等を考慮し、配置する。
- ⑥ 育児・介護等の状況に配慮した人事配置を行う。

令和4年

第16回教育委員会会議

議案第40号

秋田県教育委員会

議案第四十号

市町村立学校職員の給与等に関する規則の一部を改正する規則案
市町村立学校職員の給与等に関する規則の一部を改正する規則

市町村立学校職員の給与等に関する規則（昭和三十二年秋田県教育委員会規則第十三号）の一部を次のように改正する。
次の表の改正前の欄に掲げる規定を同表の改正後の欄に掲げる規定に傍線で示すように改正する。

改正後	改正前
<p>目次</p> <p>第一章 略</p> <p>第二章 初任給、昇格、昇給等の基準</p> <p>第一節 第四節 略</p> <p>第五節 昇格及び降格（第二十一条―第二十五条の二）</p> <p>第六節 第十節 略</p> <p>第三章 第九章の三 略</p> <p>第九章の四 条例附則第四項等の規定による給料（第七十四条の十二―第七十四条の二十二）</p> <p>第十章 略</p> <p>附則</p> <p>別表</p> <p>（新たに職員となつた者の号給）</p> <p>第十四条 新たに職員となつた者の号給は、前条の規定により決定された職務の級の号給が別表第八に定める初任給基準表（以下「初任給基準表」という。）に定められているときは当該号給とし、当該職務の級の号給が同表に定められていないときは同表に定める号給を基礎としてその者の属する職務の級に昇格し、又は降格したものとした場合に第二十四条第一項又は第二十五条第二項の規定により得られる号給とする。ただし、初任給基準表の職種欄若しくは試験欄にその者に適用される区分の定めのない</p>	<p>目次</p> <p>第一章 略</p> <p>第二章 初任給、昇格、昇給等の基準</p> <p>第一節 第四節 略</p> <p>第五節 昇格及び降格（第二十一条―第二十五条）</p> <p>第六節 第十節 略</p> <p>第三章 第九章の三 略</p> <p>第十章 略</p> <p>附則</p> <p>別表</p> <p>（新たに職員となつた者の号給）</p> <p>第十四条 新たに職員となつた者の号給は、前条の規定により決定された職務の級の号給が別表第八に定める初任給基準表（以下「初任給基準表」という。）に定められているときは当該号給とし、当該職務の級の号給が同表に定められていないときは同表に定める号給を基礎としてその者の属する職務の級に昇格し、又は降格したものとした場合に第二十四条第一項又は第二十五条第一項の規定により得られる号給とする。ただし、初任給基準表の職種欄若しくは試験欄にその者に適用される区分の定めのない</p>

者又はその者に適用される同表のこれらの欄の区分に対応する学歴免許等欄の最も低い学歴免許等の区分よりも下位の区分に属する学歴免許等の資格のみを有する者の号給は、その者の属する職務の級の最低の号給とする。

2 略

(降格)

第二十五条 職員を降格させる場合には、その職務に応じ、その者の属する職務の級を下位の職務の級に決定するものとする。

2 職員から書面による同意を得た場合には、前項の規定により当該職員を降格させることができる。

(降格の場合の号給)

第二十五条の二 職員を降格させた場合におけるその者の号給は、その者に適用される給料表の別に応じ、かつ、降格した日の前日に受けていた号給に対応する別表第九の二に定める降格時号給対応表の降格後の号給欄に定める号給とする。

2 略

3 前二項の規定により職員の号給を決定することが著しく不適當であると認められる場合には、これらの規定にかかわらず、人事委員会と協議して別に定めるところにより、その者の号給を決定することができる。この場合において、当該号給は、当該職員が降格した日の前日に受けていた給料月額に達しない額の号給でなければならぬ。

(初任給基準を異にする異動をした職員の号給)

第二十六条の二 略

2 略

3 第二十四条及び第二十五条の二の規定は、前条第一項に規定する異動をしたことにより昇格し、又は降格した職員の号給について

者又はその者に適用される同表のこれらの欄の区分に対応する学歴免許等欄の最も低い学歴免許等の区分よりも下位の区分に属する学歴免許等の資格のみを有する者の号給は、その者の属する職務の級の最低の号給とする。

2 略

(降格の場合の号給)

第二十五条 職員を降格させた場合におけるその者の号給は、に受けていた号給と同じ額の号給（同じ額の号給がないときは、直近下位の額の号給）とする。

2 略

3 前二項の規定により職員の号給を決定することが著しく不適當であると認められる場合には、これらの規定にかかわらず、人事委員会と協議して別に定めるところにより、その者の号給を決定することができる。

(初任給基準を異にする異動をした職員の号給)

第二十六条の二 略

2 略

3 第二十四条及び第二十五条の規定は、前条第一項に規定する異動をしたことにより昇格し、又は降格した職員の号給について

ては適用しない。

第九章の四 条例附則第四項等の規定による給料

(趣旨)

第七十四条の十二 この章は、条例附則第四項、第六項又は第七項の規定による給料に関し必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第七十四条の十三 この章において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

一 管理監督職 職員の定年等に関する条例（昭和五十九年秋田県条例第一号）第四条第一項に規定する管理監督職をいう。

二 異動期間 職員の定年等に関する条例第四条第一項に規定する異動期間（同条例第九条の規定により延長された期間を含む。）をいう。

三 特例任用後降任等職員 地公法第二十八条の二第四項に規定する他の職への降任等をされた職員であつて、条例附則第四項に規定する異動日（以下「異動日」という。）の前日において第一項特例任用職員（職員の定年等に関する条例第九条第一項又は第二項の規定により異動期間を延長された管理監督職を占める職員をいう。以下同じ。）又は第三項特例任用職員（同条例第九条第三項又は第四項の規定により異動期間を延長された管理監督職を占める職員をいう。以下同じ。）であつたものをいう。

四 特定日 条例附則第二項に規定する特定日をいう。

五 降格 第五条第二号に規定する降格のうち、地公法第二十八条の二第四項に規定する他の職への降任等に伴うものを除いたものをいう。

六 初任給基準異動 条例第五条第一項の給料表（以下「給料表」という。）の適用を異にしない別表第八に定める初任給基準表

ては適用しない。

(第七十四条の十七第一項第一号において「初任給基準表」という。)に異なる初任給の定めがある他の職種に属する職務への異動をいう。

七 給料表異動 給料表の適用を異にする異動をいう。

八 上限額 条例第六条第二項の規定により職員が属する職務の級における最高の号給の給料月額(育児休業法第十条第一項又は第十七条の規定による勤務(以下「育児短時間勤務等」という。))をしてしている職員にあつては、当該給料月額に条例第二十八条第二項の規定により定められた当該職員の勤務時間を同条第一項に規定する勤務時間で除して得た数(以下「算出率」という。))を乗じて得た額(その額に一円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額)をいう。

九 その者の号給等 当該職員に適用される給料表並びにその職務の級及び号給をいう。

(条例附則第四項の県の教育委員会が県の人事委員会と協議して定める職員)

第七十四条の十四 条例附則第四項の県の教育委員会が県の人事委員会と協議して定める職員は、次に掲げる職員とする。

一 地公法第二十八条の二第四項に規定する他の職への降任等をされた職員(特例任用後降任等職員を除く。)のうち、次に掲げる職員

(一) 異動日以後に初任給基準異動をした職員

(二) 異動日から特定日までの間に降格をした職員

(三) 異動日の前日以後に育児短時間勤務等をした職員(異動日以後に育児短時間勤務等を開始し、特定日前に当該育児短時間勤務等を終了した職員を除く。)

(四) 異動日以後に人事委員会の承認を得てその号給を決定された職員又は人事委員会の定めるこれに準ずる職員

二 異動日の前日から特定日までの間の給料表の給料月額が増額

改定又は減額改定（給料月額の変更をする条例が制定された場合において、当該条例による改定により当該改定前に受けていた給料月額が増額又は減額されることをいう。以下同じ。）をされた職員

（他の職への降任等をされた職員に対する条例附則第六項の規定による給料の支給）

第七十四条の十五 地公法第二十八条の二第四項に規定する他の職への降任等をされた職員（特例任用後降任等職員を除く。）であつて、異動日の前日から引き続き給料表の適用を受ける職員のうち、次の各号に掲げる職員となり、特定日に条例附則第二項の規定により当該職員が受ける給料月額（特定日後に第一号、第三号又は第四号に掲げる職員となつたものにあつては、特定日に当該各号に掲げる職員になつたものとした場合に特定日に同項の規定により当該職員が受けることとなる給料月額に相当する額。以下この項において「特定日給料月額」という。）が当該各号の区分に応じ当該各号に定める額（第三号（一）に掲げる職員以外の職員にあつては、当該額に、五十銭未満の端数を生じたときはこれを切り捨て、五十銭以上一円未満の端数を生じたときはこれを切り上げた額。以下この条において「第七十四条の十五基礎給料月額」という。）に達しないこととなる職員（次の各号のうち二以上の号に掲げる職員に該当する職員（第三項の規定の適用を受ける職員を除く。）を除く。）には、特定日以後の当該各号に掲げる職員となつた日以後、第七十四条の十五基礎給料月額と特定日給料月額との差額に相当する額を、条例附則第六項の規定による給料として支給する。

一 異動日以後に給料表異動又は初任給基準異動（以下「給料表異動等」という。）をした職員（第四号に掲げる職員を除く。）

異動日の前日に当該給料表異動等があつたものとした場合（給料表異動等が二回以上あつた場合にあつては、同日にそれ

らの給料表異動等が順次あつたものとした場合）に同日において当該職員が受けることとなる給料月額に相当する額に百分の七十を乗じて得た額

二 異動日から特定日まで間に降格をした職員（第四号に掲げる職員を除く。） 異動日の前日に当該職員が受けていた給料月額から、当該降格をした日に当該降格がないものとした場合の同日のその者の号給等に対応する給料月額に相当する額と当該降格後のその者の号給等に対応する給料月額との差額（降格を二回以上した場合にあつては、それぞれの当該差額を合算した額）に相当する額を減じた額に百分の七十を乗じて得た額

三 異動日の前日以後に育児短時間勤務等をした職員（異動日以後に育児短時間勤務等を開始し、特定日前に当該育児短時間勤務等を終了した職員を除く。） 次に掲げる職員の区分に応じ、次に定める額

(一) 特定日以後に現に育児短時間勤務等をしている職員 異動日の前日のその者の号給等に対応する給料月額に百分の七十を乗じて得た額（当該額に、五十銭未満の端数を生じたときはこれを切り捨て、五十銭以上一円未満の端数を生じたときはこれを一円に切り上げた額）に算出率を乗じて得た額（その額に一円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額）

(二) (一)に掲げる職員以外の職員 異動日の前日のその者の号給等に対応する給料月額に百分の七十を乗じて得た額

四 異動日以後に人事委員会の承認を得てその号給を決定された職員又は人事委員会の定めるこれに準ずる職員 人事委員会の定める額

五 異動日の前日から特定日まで間の給料表の給料月額が増額改定又は減額改定をされた職員 異動日の前日のその者の号給等に対応する特定日の給料表の給料月額欄に掲げる給料月額に百分の七十を乗じて得た額

2 前項の規定による給料の額と当該給料を支給される職員の受ける給料月額との合計額が上限額を超える場合における同項の規定の適用については、同項中「第七十四条の十五基礎給料月額と特定日給料月額との差額」とあるのは、「上限額と当該職員の受ける給料月額との差額」とする。

3 第一項第一号から第三号までのいずれかに該当する職員であつて同項第五号に掲げる職員に該当する職員に対する前二項の規定の適用については、当該職員は第一項第一号から第三号までのいずれかに該当する職員であるものとし、当該職員について適用される第七十四条の十五基礎給料月額は、同項第一号から第三号までに規定する給料月額について特定日の給料表の給料月額欄に掲げる給料月額を用いて、算出するものとする。

4 第一項第一号から第五号までのうち二以上の号に掲げる職員に該当する職員（前項の規定の適用を受ける職員を除く。）には、人事委員会の定める日以後、人事委員会の定める額を、条例附則第六項の規定による給料として支給する。

（特例任用後降任等職員に対する条例附則第六項の規定による給料の支給）

第七十四条の十六 特例任用後降任等職員であつて、仮定異動期間末日（職員の定年等に関する条例第九条の規定による異動期間の延長がないものとした場合における異動期間の末日をいう。以下同じ。）の前日から引き続き同一の給料表の適用を受ける職員のうち、異動日に条例附則第二項の規定により当該職員が受ける給料月額（以下この項において「異動日給料月額」という。）が異動日の前日のその者の号給等に対応する給料月額（仮定異動期間末日の前日から異動日の前々日までの間のその者の号給等に対応する給料月額に、これよりも多い給料月額がある場合は、そのうち最も多い給料月額に相当する額）に百分の七十を乗じて得た額（当該額に五十銭未満の端数を生じたときはこれを切り捨て、五

十銭以上一円未満の端数を生じたときはこれを一円に切り上げた額。以下この項において「第七十四条の十六基礎給料月額」という。）に達しないこととなる職員（次条第一項各号、第三項及び第四項に該当する職員を除く。）には、異動日以後、第七十四条の十六基礎給料月額と異動日給料月額との差額に相当する額を、条例附則第六項の規定による給料として支給する。

2 前項の規定による給料の額と当該給料を支給される職員の受ける給料月額との合計額が上限額を超える場合における同項の規定の適用については、同項中「第七十四条の十六基礎給料月額と異動日給料月額との差額」とあるのは、「上限額と当該職員の受ける給料月額との差額」とする。

第七十四条の十七 特例任用後降任等職員であつて、仮定異動期間末日の前日から引き続き給料表の適用を受ける職員のうち、次の各号に掲げる職員となり、異動日に条例附則第二項の規定により当該職員が受ける給料月額（異動日後に第一号、第三号又は第四号に掲げる職員となつたものにあつては、異動日に当該各号に掲げる職員になつたものとした場合に異動日に同項の規定により当該職員が受けることとなる給料月額に相当する額。以下この項において「異動日給料月額」という。）が当該各号の区分に応じ当該各号に定める額（第三号（一）に掲げる職員以外の職員にあつては、当該額に、五十銭未満の端数を生じたときはこれを切り捨て、五十銭以上一円未満の端数を生じたときはこれを一円に切り上げた額。以下この条において「第七十四条の十七基礎給料月額」という。）に達しないこととなる職員（次の各号のうち二以上の号に掲げる職員に該当する職員（第三項の規定の適用を受ける職員を除く。）を除く。）には、異動日以後の当該各号に掲げる職員となつた日以後、第七十四条の十七基礎給料月額と異動日給料月額との差額に相当する額を、条例附則第六項の規定による給料として支給する。

一 仮定異動期間末日以後に給料表異動等をした職員（第四号に掲げる職員を除く。） 仮定異動期間末日の前日に当該給料表異動等があり、同日から異動日の前日まで当該給料表異動等に適用されている給料表及び初任給基準表における初任給の定めが引き続き適用されているものとした場合（給料表異動等が二回以上あつた場合にあつては、仮定異動期間末日の前日にそれらの給料表異動等が順次あり、同日から異動日の前日までこれらの給料表異動等後に適用されている給料表及び初任給基準表における初任給の定めが引き続き適用されているものとした場合）の同日のその者の号給等に対応する給料月額に相当する額（これらの場合において、仮定異動期間末日の前日から異動日の前々日までの間のその者の号給等に対応する給料月額に、これよりも多い給料月額があるときは、そのうち最も多い給料月額に相当する額）に百分の七十を乗じて得た額

二 仮定異動期間末日から異動日までの間に降格（第二十五条第二項に該当するものを除く。以下この号において同じ。）をした職員（第四号に掲げる職員を除く。） 異動日の前日のその者の号給等に対応する給料月額（仮定異動期間末日の前日から異動日の前々日までの間のその者の号給等に対応する給料月額に、これよりも多い給料月額がある場合は、そのうち最も多い給料月額に相当する額）から、当該降格をした日に当該降格がないものとした場合の同日のその者の号給等に対応する給料月額に相当する額と当該降格後のその者の号給等に対応する給料月額との差額（降格を二回以上した場合にあつては、それぞれの当該差額を合算した額）に相当する額を減じた額に百分の七十を乗じて得た額

三 仮定異動期間末日の前日以後に育児短時間勤務等をした職員次に掲げる職員の区分に応じ、次に定める額

(一) 異動日以後に現に育児短時間勤務等をしている職員 異動日の前日のその者の号給等に対応する給料月額（仮定異動期

間末日の前日から異動日の前々日までの間のその者の号給等に対応する給料月額に、これよりも多い給料月額がある場合は、そのうち最も多い給料月額に相当する額)に百分の七十を乗じて得た額(当該額に、五十銭未満の端数を生じたときはこれを切り捨て、五十銭以上一円未満の端数を生じたときはこれを一円に切り上げた額)に算出率を乗じて得た額(その額に一円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額)

(二) (一)に掲げる職員以外の職員 異動日の前日のその者の号給等に対応する給料月額(仮定異動期間末日の前日から異動日の前々日までの間のその者の号給等に対応する給料月額に、これよりも多い給料月額がある場合は、そのうち最も多い給料月額に相当する額)に百分の七十を乗じて得た額

四 仮定異動期間末日以後に人事委員会の承認を得てその号給を決定された職員又は人事委員会の定めるこれに準ずる職員 人事委員会の定める額

五 仮定異動期間末日の前日から異動日までの間の給料表の給料月額が増額改定又は減額改定をされた職員 異動日の前日のその者の号給等に対応する異動日の給料表の給料月額欄に掲げる給料月額(仮定異動期間末日の前日から異動日の前々日までの間のその者の号給等に対応する異動日の給料表の給料月額欄に掲げる給料月額に、これよりも多い給料月額がある場合は、そのうち最も多い給料月額に相当する額)に百分の七十を乗じて得た額

2 前項の規定による給料の額と当該給料を支給される職員の受ける給料月額との合計額が上限額を超える場合における同項の規定の適用については、同項中「第七十四条の十七基礎給料月額と異動日給料月額との差額」とあるのは、「上限額と当該職員の受ける給料月額との差額」とする。

3 第一項第一号から第三号までのいずれかに該当する職員であつ

て、第五号に掲げる職員に該当する職員に対する前二項の規定の適用については、当該職員は第一項第一号から第三号までのいずれかに該当する職員であるものとし、当該職員について適用される第七十四条の十七基礎給料月額は、同項第一号から第三号までに規定する給料月額について異動日の給料表の給料月額欄に掲げる給料月額を用いて、算出するものとする。

4 第一項第一号から第五号までのうち二以上の号に掲げる職員に該当する職員（前項の規定の適用を受ける職員を除く。）には、人事委員会の定める日以後、人事委員会の定める額を、条例附則第六項の規定による給料として支給する。

（降任等相当給料表異動をした職員に対する条例附則第七項の規定による給料の支給）

第七十四条の十八 降任等相当給料表異動（地公法第二十八条の二第一項ただし書に規定する他の職への転任に伴う給料表異動のうち、当該給料表異動後の職員の職務の級が当該給料表異動の前日に給料表異動があつたものとした場合の職員の職務の級より下位の職務の級となる場合のものをいう。以下この条及び次条において同じ。）をした職員（第一項特例任用職員又は第三項特例任用職員から降任等相当給料表異動をした職員を除く。第四項において同じ。）であつて、降任等相当転任日（当該降任等相当給料表異動をした日をいう。以下この条及び次条において同じ。）の前日から引き続き給料表の適用を受ける職員（第四項各号に掲げる職員を除く。）のうち、特定日に条例附則第二項の規定により当該職員が受ける給料月額（以下この項において「特定日給料月額」という。）が降任等相当転任日の前日に降任等相当転任日において適用される給料表の適用を受けるものとした場合に当該職員が受けることとなる給料月額に相当する額に百分の七十を乗じて得た額（当該額に五十銭未満の端数を生じたときはこれを切り捨て、五十銭以上一円未満の端数を生じたときはこれを一円に切

り上げた額。以下この条において「第七十四条の十八基礎給料月額」という。）に達しないこととなる職員には、特定日以後、第七十四条の十八基礎給料月額と特定日給料月額との差額に相当する額を、条例附則第七項の規定による給料として支給する。

2 前項の規定による給料の額と当該給料を支給される職員の受ける給料月額との合計額が上限額を超える場合における同項の規定の適用については、同項中「第七十四条の十八基礎給料月額と特定日給料月額との差額」とあるのは、「上限額と当該職員の受ける給料月額との差額」とする。

3 降任等相当転任日の前日から特定日までの間の給料表の給料月額が増額改定又は減額改定をされた職員に対する前二項の規定の適用については、当該職員について適用される第七十四条の十八基礎給料月額は、第一項に規定する給料月額について特定日の給料表の給料月額欄に掲げる給料月額を用いて、算出するものとする。

4 降任等相当給料表異動をした職員であつて、降任等相当転任日の前日から引き続き給料表の適用を受ける職員のうち、条例附則第二項の規定の適用を受ける職員であつて、次に掲げる職員には、人事委員会の定める日以後、人事委員会の定める額を、条例附則第七項の規定による給料として支給する。

一 降任等相当転任日後に給料表異動等をした職員

二 降任等相当転任日から特定日までの間に降格をした職員

三 降任等相当転任日の前日以後に育児短時間勤務等をした職員（降任等相当転任日以後に育児短時間勤務等を開始し、特定日前に当該育児短時間勤務等を終了した職員を除く。）

四 降任等相当転任日以後に人事委員会の承認を得てその号給を決定された職員又は人事委員会の定めるこれに準ずる職員

第七十四条の十九 第一項特例任用職員又は第三項特例任用職員から降任等相当給料表異動をした職員であつて、降任等相当転任日

の前日から引き続き給料表の適用を受ける職員（第四項各号に掲げる職員を除く。）のうち、降任等相当転任日に条例附則第二項の規定により当該職員が受ける給料月額（以下この項において「転任日給料月額」という。）が降任等相当転任日の前日に降任等相当転任日において適用される給料表の適用を受けるものとした場合の降任等相当転任日の前日のその者の号給等に対応する給料月額に相当する額（仮定異動期間末日の前日に当該給料表の適用を受け、同日から降任等相当転任日の前日まで当該給料表が引き続き適用されているものとした場合に、仮定異動期間末日の前日から降任等相当転任日の前々日までの間のその者の号給等に対応する給料月額に、これよりも多い給料月額があるときは、そのうち最も多い給料月額に相当する額）に百分の七十を乗じて得た額（当該額に、五十銭未満の端数を生じたときはこれを切り捨て、五十銭以上一円未満の端数を生じたときはこれを一円に切り上げた額。以下この条において「第七十四条の十九基礎給料月額」という。）に達しないこととなる職員には、降任等相当転任日以後、第七十四条の十九基礎給料月額と転任日給料月額との差額に相当する額を、条例附則第七項の規定による給料として支給する。

2 前項の規定による給料の額と当該給料を支給される職員の受ける給料月額との合計額が上限額を超える場合における同項の規定の適用については、同項中「第七十四条の十九基礎給料月額と転任日給料月額との差額」とあるのは、「上限額と当該職員の受ける給料月額との差額」とする。

3 仮定異動期間末日の前日から降任等相当転任日までの間の給料表の給料月額が増額改定又は減額改定をされた職員に対する前二項の規定の適用については、当該職員について適用される第七十四条の十九基礎給料月額は、第一項に規定する給料月額について降任等相当転任日の給料表の給料月額欄に掲げる給料月額を用いて、算出するものとする。

4

第一項特例任用職員又は第三項特例任用職員から降任等相当給料表異動をした職員であつて、降任等相当転任日の前日から引き続き給料表の適用を受ける職員のうち、条例附則第二項の規定の適用を受ける職員であつて、次に掲げる職員には、人事委員会の定める日以後、人事委員会の定める額を、条例附則第七項の規定による給料として支給する。

一 降任等相当転任日後に給料表異動等をした職員

二 仮定異動期間末日から降任等相当転任日までの間に降格（第二十五条第二項に該当するものを除く。）をした職員

三 仮定異動期間末日の前日以後に育児短時間勤務等をした職員

四 仮定異動期間末日以後に人事委員会の承認を得てその号給を決定された職員又は人事委員会の定めるこれに準ずる職員

（特例任用期間降格等職員に対する条例附則第七項の規定による給料の支給）

第七十四条の二十 特例任用期間降格等職員（第三項特例任用職員のうち、仮定異動期間末日から地公法第二十八条の二第一項に規定する他の職への昇任、降任又は転任をされる日の前日までの間において、降格（第二十五条第二項に該当するものに限り。）をされた職員又は給料表異動により当該給料表異動後の職員の職務の級が当該給料表異動の前日に給料表異動があつたものとした場合の職員の職務の級より下位の職務の級となつた職員をいう。以下この条において同じ。）であつて、仮定異動期間末日の前日から引き続き給料表の適用を受ける職員（第四項各号に掲げる職員を除く。）のうち、特例任用期間降格等職員となつた日（当該日が二以上あるときは、当該日のうち最も遅い日。以下この条において同じ。）に条例附則第二項の規定により当該職員が受ける給料月額（以下この項において「降格等相当日給料月額」という。）が、次の各号に掲げる区分に応じ当該各号に定める額（当該額に五十銭未満の端数を生じたときはこれを切り捨て、五十銭以上一

円未満の端数を生じたときはこれを一円に切り上げた額。以下この条において「第七十四条の二十基礎給料月額」という。）に達しないこととなる職員には、特例任用期間降格等職員となつた日から地公法第二十八条の二第一項に規定する他の職への昇任、降任又は転任をされる日の前日までの間、第七十四条の二十基礎給料月額と降格等相当日給料月額との差額に相当する額を、条例附則第七項の規定による給料として支給する。

一 次号に掲げる職員以外の職員 特例任用期間降格等職員となつた日の前日のその者の号給等に対応する給料月額（仮定異動期間末日の前日から特例任用期間降格等職員となつた日の前々日までの間のその者の号給等に対応する給料月額に、これより多い給料月額がある場合は、そのうち最も多い給料月額に相当する額）に百分の七十を乗じて得た額

二 仮定異動期間末日以後に給料表異動（当該給料表異動後の職員の職務の級が当該給料表異動の前日に給料表異動があつたものとした場合の職員の職務の級より下位の職務の級となるものに限る。）をした職員 特例任用期間降格等職員となつた日の前日に特例任用期間降格等職員となつた日において適用される給料表の適用を受ける職員への給料表異動があつたものとした場合の特例任用期間降格等職員となつた日の前日のその者の号給等に対応する給料月額に相当する額（仮定異動期間末日の前日に当該給料表異動があり、同日から特例任用期間降格等職員となつた日の前日まで当該給料表異動後に適用されている給料表が引き続き適用されているものとした場合に、仮定異動期間末日の前日から特例任用期間降格等職員となつた日の前々日までの間のその者の号給等に対応する給料月額に、これよりも多い給料月額があるときは、そのうち最も多い給料月額に相当する額）に百分の七十を乗じて得た額

2 前項の規定による給料の額と当該給料を支給される職員の受ける給料月額との合計額が上限額を超える場合における同項の規定

の適用については、同項中「第七十四条の二十基礎給料月額と降格等相当日給料月額との差額」とあるのは、「上限額と当該職員を受けける給料月額との差額」とする。

3 仮定異動期間末日の前日から特例任用期間降格等職員となつた日までの間の給料表の給料月額が増額改定又は減額改定をされた職員に対する前二項の規定の適用については、当該職員について適用される第七十四条の二十基礎給料月額は、第一項各号に規定する給料月額について特例任用期間降格等職員となつた日の給料表の給料月額欄に掲げる給料月額を用いて、算出するものとする。

4 特例任用期間降格等職員であつて、仮定異動期間末日の前日から引き続き給料表の適用を受ける職員のうち、条例附則第二項の規定の適用を受ける職員であつて、次に掲げる職員には、人事委員会の定める日から地公法第二十八条の二第一項に規定する他の職への昇任、降任又は転任をされる日の前日までの間、人事委員会の定める額を、条例附則第七項の規定による給料として支給する。

一 特例任用期間降格等職員となつた日の翌日から地公法第二十八条の二第一項に規定する他の職への昇任、降任又は転任をされる日の前日までの間に第五条第一号に規定する昇格をした職員

二 特例任用期間降格等職員となつた日以後に給料表異動等（給料表異動のうち、当該給料表異動後の職員の職務の級が当該給料表異動の前日に給料表異動があつたものとした場合の職員の職務の級より下位の職務の級となる場合のものを除く。）をした職員

三 仮定異動期間末日から特例任用期間降格等職員となつた日までの間に降格（第二十五条第二項に該当するものを除く。）をした職員

四 仮定異動期間末日の前日以後に育児短時間勤務等をした職員

五 仮定異動期間末日以後に人事委員会の承認を得てその号給を決定された職員又は人事委員会の定めるこれに準ずる職員

(人事交流等職員に対する条例附則第七項の規定による給料の支給)

第七十四条の二十一 第十八条各号に掲げる者から人事交流等により引き続き管理監督職以外の職に採用された職員(以下この条において「人事交流等職員」という。)のうち人事交流等職員となつた日(当該日が二以上あるときは、当該日のうち最も遅い日。以下この条において同じ。)前に職員であつたものとした場合に異動日とみなされる日(以下この条において「みなし異動日」という。)がある者であつて、人事交流等職員となつた日から引き続き給料表の適用を受ける職員(第四項各号に掲げる職員を除く。)のうち、特定日に条例附則第二項の規定により当該職員が受ける給料月額(人事交流等職員となつた日が六十歳に達した日後における最初の四月一日(以下この条において「仮定特定日」という。)後であるときは、仮定特定日に職員であつたものとして条例附則第二項の規定が適用された場合に仮定特定日に当該職員が受けることとなる給料月額に相当する額。以下この項において「特定日給料月額」という。)がみなし異動日の前日に職員となつたものとした場合に当該職員が受けることとなる給料月額に相当する額に百分の七十を乗じて得た額(当該額に、五十銭未満の端数を生じたときはこれを切り捨て、五十銭以上一円未満の端数を生じたときはこれを一円に切り上げた額。以下この条において「第七十四条の二十一基礎給料月額」という。)に達しないこととなる職員には、人事交流等職員となつた日(特定日前に人事交流等職員となつた場合にあつては特定日)以後、第七十四条の二十一基礎給料月額と特定日給料月額との差額に相当する額を、条例附則第七項の規定による給料として支給する。

2 前項の規定による給料の額と当該給料を支給される職員の受け

る給料月額との合計額が上限額を超える場合における同項の規定の適用については、同項中「第七十四条の二十一基礎給料月額と特定日給料月額との差額」とあるのは、「上限額と当該職員の受ける給料月額との差額」とする。

3 給料月額の改定をする条例の制定により、みなし異動日の前日から特定日（人事交流等職員となつた日が仮定特定日後であるときは、仮定特定日。以下この項において同じ。）までの間の給料表の給料月額が改定された場合における前二項の規定の適用については、人事交流等職員について適用される第七十四条の二十一基礎給料月額は、第一項に規定する給料月額について特定日の給料表の給料月額欄に掲げる給料月額を用いて、算出するものとする。

4 人事交流等職員のうちみなし異動日がある者であつて、人事交流等職員となつた日から引き続き給料表の適用を受ける職員のうち、条例附則第二項の規定の適用を受ける職員であつて、次に掲げる職員には、人事委員会の定める日以後、人事委員会の定める額を、条例附則第七項の規定による給料として支給する。

一 かつて第一項特例任用職員又は第三項特例任用職員として勤務していた者で、人事交流等により引き続き第十八条各号に掲げる者となり引き続き人事交流等職員となつたもの及びこれに準ずるもの

二 人事交流等職員となつた日後に給料表異動等をした職員

三 人事交流等職員となつた日から特定日までの間に降格をした職員

四 人事交流等職員となつた日（特定日前に人事交流等職員となつた場合にあつては特定日）以後に育児短時間勤務等をした職員

五 人事交流等職員となつた日以後に人事委員会の承認を得てその号給を決定された職員又は人事委員会の定めるこれに準ずる職員

(この規則により難い場合の措置)

第七十四条の二十二 条例附則第四項、第六項又は第七項の規定による給料の支給について、この章の規定による場合には教育委員会の他の職員との均衡を著しく失すると認められるときその他の特別の事情があるときは、あらかじめ人事委員会の承認を得て、別段の取扱いをすることができる。

改正後

改正前

別表第9の2 降格時号給対応表 (第二十五条の二関係)

イ 教育職給料表(一)降格時号給対応表

降格した日の前日に受けていた号給	降格後の号給		
	1級	2級	3級
1	9	49	57
2	10	50	58
3	10	51	59
4	11	52	60
5	12	53	61
6	13	54	62
7	14	55	63
8	15	56	64
9	16	57	65
10	17	58	66
11	18	59	67
12	19	60	68
13	20	61	69
14	21	62	70
15	23	63	71

<u>16</u>	<u>24</u>	<u>64</u>	<u>72</u>
<u>17</u>	<u>25</u>	<u>65</u>	<u>73</u>
<u>18</u>	<u>26</u>	<u>66</u>	<u>74</u>
<u>19</u>	<u>27</u>	<u>67</u>	<u>75</u>
<u>20</u>	<u>28</u>	<u>68</u>	<u>80</u>
<u>21</u>	<u>29</u>	<u>69</u>	<u>85</u>
<u>22</u>	<u>30</u>	<u>70</u>	<u>90</u>
<u>23</u>	<u>31</u>	<u>71</u>	<u>93</u>
<u>24</u>	<u>32</u>	<u>72</u>	<u>93</u>
<u>25</u>	<u>33</u>	<u>73</u>	<u>93</u>
<u>26</u>	<u>34</u>	<u>74</u>	<u>93</u>
<u>27</u>	<u>35</u>	<u>75</u>	<u>93</u>
<u>28</u>	<u>36</u>	<u>76</u>	<u>93</u>
<u>29</u>	<u>37</u>	<u>77</u>	<u>93</u>
<u>30</u>	<u>38</u>	<u>78</u>	<u>93</u>
<u>31</u>	<u>39</u>	<u>79</u>	<u>93</u>
<u>32</u>	<u>40</u>	<u>80</u>	<u>93</u>
<u>33</u>	<u>41</u>	<u>81</u>	<u>93</u>
<u>34</u>	<u>42</u>	<u>82</u>	<u>93</u>
<u>35</u>	<u>43</u>	<u>83</u>	<u>93</u>
<u>36</u>	<u>44</u>	<u>84</u>	<u>93</u>
<u>37</u>	<u>45</u>	<u>85</u>	<u>93</u>
<u>38</u>	<u>46</u>	<u>86</u>	
<u>39</u>	<u>47</u>	<u>87</u>	
<u>40</u>	<u>48</u>	<u>88</u>	
<u>41</u>	<u>50</u>	<u>89</u>	
<u>42</u>	<u>52</u>	<u>90</u>	
<u>43</u>	<u>54</u>	<u>91</u>	
<u>44</u>	<u>56</u>	<u>92</u>	
<u>45</u>	<u>58</u>	<u>93</u>	

<u>46</u>	<u>60</u>	<u>94</u>	
<u>47</u>	<u>62</u>	<u>95</u>	
<u>48</u>	<u>64</u>	<u>96</u>	
<u>49</u>	<u>66</u>	<u>97</u>	
<u>50</u>	<u>68</u>	<u>98</u>	
<u>51</u>	<u>70</u>	<u>99</u>	
<u>52</u>	<u>72</u>	<u>100</u>	
<u>53</u>	<u>74</u>	<u>101</u>	
<u>54</u>	<u>76</u>	<u>102</u>	
<u>55</u>	<u>78</u>	<u>103</u>	
<u>56</u>	<u>80</u>	<u>104</u>	
<u>57</u>	<u>82</u>	<u>105</u>	
<u>58</u>	<u>84</u>	<u>106</u>	
<u>59</u>	<u>86</u>	<u>107</u>	
<u>60</u>	<u>88</u>	<u>108</u>	
<u>61</u>	<u>90</u>	<u>110</u>	
<u>62</u>	<u>92</u>	<u>112</u>	
<u>63</u>	<u>94</u>	<u>114</u>	
<u>64</u>	<u>96</u>	<u>116</u>	
<u>65</u>	<u>103</u>	<u>117</u>	
<u>66</u>	<u>110</u>	<u>118</u>	
<u>67</u>	<u>117</u>	<u>119</u>	
<u>68</u>	<u>124</u>	<u>120</u>	
<u>69</u>	<u>125</u>	<u>122</u>	
<u>70</u>	<u>125</u>	<u>124</u>	
<u>71</u>	<u>125</u>	<u>126</u>	
<u>72</u>	<u>125</u>	<u>128</u>	
<u>73</u>	<u>125</u>	<u>130</u>	
<u>74</u>	<u>125</u>	<u>150</u>	
<u>75</u>	<u>125</u>	<u>155</u>	

<u>76</u>	<u>125</u>	<u>157</u>	
<u>77</u>	<u>125</u>	<u>157</u>	
<u>78</u>	<u>125</u>	<u>157</u>	
<u>79</u>	<u>125</u>	<u>157</u>	
<u>80</u>	<u>125</u>	<u>157</u>	
<u>81</u>	<u>125</u>	<u>157</u>	
<u>82</u>	<u>125</u>	<u>157</u>	
<u>83</u>	<u>125</u>	<u>157</u>	
<u>84</u>	<u>125</u>	<u>157</u>	
<u>85</u>	<u>125</u>	<u>157</u>	
<u>86</u>	<u>125</u>	<u>157</u>	
<u>87</u>	<u>125</u>	<u>157</u>	
<u>88</u>	<u>125</u>	<u>157</u>	
<u>89</u>	<u>125</u>	<u>157</u>	
<u>90</u>	<u>125</u>	<u>157</u>	
<u>91</u>	<u>125</u>	<u>157</u>	
<u>92</u>	<u>125</u>	<u>157</u>	
<u>93</u>	<u>125</u>	<u>157</u>	
<u>94</u>	<u>125</u>		
<u>95</u>	<u>125</u>		
<u>96</u>	<u>125</u>		
<u>97</u>	<u>125</u>		
<u>98</u>	<u>125</u>		
<u>99</u>	<u>125</u>		
<u>100</u>	<u>125</u>		
<u>101</u>	<u>125</u>		
<u>102</u>	<u>125</u>		
<u>103</u>	<u>125</u>		
<u>104</u>	<u>125</u>		
<u>105</u>	<u>125</u>		

<u>106</u>	<u>125</u>		
<u>107</u>	<u>125</u>		
<u>108</u>	<u>125</u>		
<u>109</u>	<u>125</u>		
<u>110</u>	<u>125</u>		
<u>111</u>	<u>125</u>		
<u>112</u>	<u>125</u>		
<u>113</u>	<u>125</u>		
<u>114</u>	<u>125</u>		
<u>115</u>	<u>125</u>		
<u>116</u>	<u>125</u>		
<u>117</u>	<u>125</u>		
<u>118</u>	<u>125</u>		
<u>119</u>	<u>125</u>		
<u>120</u>	<u>125</u>		
<u>121</u>	<u>125</u>		
<u>122</u>	<u>125</u>		
<u>123</u>	<u>125</u>		
<u>124</u>	<u>125</u>		
<u>125</u>	<u>125</u>		
<u>126</u>	<u>125</u>		
<u>127</u>	<u>125</u>		
<u>128</u>	<u>125</u>		
<u>129</u>	<u>125</u>		
<u>130</u>	<u>125</u>		
<u>131</u>	<u>125</u>		
<u>132</u>	<u>125</u>		
<u>133</u>	<u>125</u>		
<u>134</u>	<u>125</u>		
<u>135</u>	<u>125</u>		

<u>136</u>	<u>125</u>		
<u>137</u>	<u>125</u>		
<u>138</u>	<u>125</u>		
<u>139</u>	<u>125</u>		
<u>140</u>	<u>125</u>		
<u>141</u>	<u>125</u>		
<u>142</u>	<u>125</u>		
<u>143</u>	<u>125</u>		
<u>144</u>	<u>125</u>		
<u>145</u>	<u>125</u>		
<u>146</u>	<u>125</u>		
<u>147</u>	<u>125</u>		
<u>148</u>	<u>125</u>		
<u>149</u>	<u>125</u>		
<u>150</u>	<u>125</u>		
<u>151</u>	<u>125</u>		
<u>152</u>	<u>125</u>		
<u>153</u>	<u>125</u>		
<u>154</u>	<u>125</u>		
<u>155</u>	<u>125</u>		
<u>156</u>	<u>125</u>		
<u>157</u>	<u>125</u>		

ロ 教育職給料表(降格時号給対応表)

降格した日の前日 に受けていた号給	降格後の号給		
	1級	2級	3級
<u>1</u>	<u>21</u>	<u>53</u>	<u>41</u>
<u>2</u>	<u>22</u>	<u>54</u>	<u>42</u>
<u>3</u>	<u>23</u>	<u>55</u>	<u>43</u>
<u>4</u>	<u>24</u>	<u>56</u>	<u>44</u>
<u>5</u>	<u>25</u>	<u>57</u>	<u>45</u>

<u>6</u>	<u>26</u>	<u>58</u>	<u>46</u>
<u>7</u>	<u>27</u>	<u>59</u>	<u>47</u>
<u>8</u>	<u>28</u>	<u>60</u>	<u>48</u>
<u>9</u>	<u>29</u>	<u>61</u>	<u>49</u>
<u>10</u>	<u>30</u>	<u>62</u>	<u>50</u>
<u>11</u>	<u>31</u>	<u>63</u>	<u>51</u>
<u>12</u>	<u>32</u>	<u>64</u>	<u>52</u>
<u>13</u>	<u>33</u>	<u>65</u>	<u>53</u>
<u>14</u>	<u>34</u>	<u>66</u>	<u>54</u>
<u>15</u>	<u>35</u>	<u>67</u>	<u>55</u>
<u>16</u>	<u>36</u>	<u>68</u>	<u>56</u>
<u>17</u>	<u>37</u>	<u>69</u>	<u>57</u>
<u>18</u>	<u>38</u>	<u>70</u>	<u>58</u>
<u>19</u>	<u>39</u>	<u>71</u>	<u>59</u>
<u>20</u>	<u>40</u>	<u>72</u>	<u>60</u>
<u>21</u>	<u>41</u>	<u>73</u>	<u>61</u>
<u>22</u>	<u>42</u>	<u>74</u>	<u>62</u>
<u>23</u>	<u>43</u>	<u>75</u>	<u>63</u>
<u>24</u>	<u>44</u>	<u>76</u>	<u>64</u>
<u>25</u>	<u>45</u>	<u>77</u>	<u>66</u>
<u>26</u>	<u>46</u>	<u>78</u>	<u>68</u>
<u>27</u>	<u>47</u>	<u>79</u>	<u>70</u>
<u>28</u>	<u>48</u>	<u>80</u>	<u>72</u>
<u>29</u>	<u>50</u>	<u>81</u>	<u>74</u>
<u>30</u>	<u>52</u>	<u>82</u>	<u>76</u>
<u>31</u>	<u>54</u>	<u>83</u>	<u>77</u>
<u>32</u>	<u>56</u>	<u>84</u>	<u>77</u>
<u>33</u>	<u>58</u>	<u>85</u>	<u>77</u>
<u>34</u>	<u>60</u>	<u>86</u>	<u>77</u>
<u>35</u>	<u>62</u>	<u>87</u>	<u>77</u>

<u>36</u>	<u>64</u>	<u>88</u>	<u>77</u>
<u>37</u>	<u>66</u>	<u>89</u>	<u>77</u>
<u>38</u>	<u>68</u>	<u>90</u>	
<u>39</u>	<u>70</u>	<u>91</u>	
<u>40</u>	<u>72</u>	<u>92</u>	
<u>41</u>	<u>73</u>	<u>93</u>	
<u>42</u>	<u>74</u>	<u>94</u>	
<u>43</u>	<u>75</u>	<u>95</u>	
<u>44</u>	<u>76</u>	<u>96</u>	
<u>45</u>	<u>78</u>	<u>97</u>	
<u>46</u>	<u>80</u>	<u>98</u>	
<u>47</u>	<u>82</u>	<u>99</u>	
<u>48</u>	<u>84</u>	<u>100</u>	
<u>49</u>	<u>86</u>	<u>102</u>	
<u>50</u>	<u>88</u>	<u>104</u>	
<u>51</u>	<u>90</u>	<u>106</u>	
<u>52</u>	<u>92</u>	<u>108</u>	
<u>53</u>	<u>95</u>	<u>110</u>	
<u>54</u>	<u>98</u>	<u>112</u>	
<u>55</u>	<u>101</u>	<u>114</u>	
<u>56</u>	<u>104</u>	<u>116</u>	
<u>57</u>	<u>107</u>	<u>123</u>	
<u>58</u>	<u>110</u>	<u>130</u>	
<u>59</u>	<u>113</u>	<u>142</u>	
<u>60</u>	<u>116</u>	<u>145</u>	
<u>61</u>	<u>121</u>	<u>145</u>	
<u>62</u>	<u>126</u>	<u>145</u>	
<u>63</u>	<u>131</u>	<u>145</u>	
<u>64</u>	<u>136</u>	<u>145</u>	
<u>65</u>	<u>141</u>	<u>145</u>	

<u>66</u>	<u>146</u>	<u>145</u>	
<u>67</u>	<u>151</u>	<u>145</u>	
<u>68</u>	<u>153</u>	<u>145</u>	
<u>69</u>	<u>153</u>	<u>145</u>	
<u>70</u>	<u>153</u>	<u>145</u>	
<u>71</u>	<u>153</u>	<u>145</u>	
<u>72</u>	<u>153</u>	<u>145</u>	
<u>73</u>	<u>153</u>	<u>145</u>	
<u>74</u>	<u>153</u>	<u>145</u>	
<u>75</u>	<u>153</u>	<u>145</u>	
<u>76</u>	<u>153</u>	<u>145</u>	
<u>77</u>	<u>153</u>	<u>145</u>	
<u>78</u>	<u>153</u>		
<u>79</u>	<u>153</u>		
<u>80</u>	<u>153</u>		
<u>81</u>	<u>153</u>		
<u>82</u>	<u>153</u>		
<u>83</u>	<u>153</u>		
<u>84</u>	<u>153</u>		
<u>85</u>	<u>153</u>		
<u>86</u>	<u>153</u>		
<u>87</u>	<u>153</u>		
<u>88</u>	<u>153</u>		
<u>89</u>	<u>153</u>		
<u>90</u>	<u>153</u>		
<u>91</u>	<u>153</u>		
<u>92</u>	<u>153</u>		
<u>93</u>	<u>153</u>		
<u>94</u>	<u>153</u>		
<u>95</u>	<u>153</u>		

<u>96</u>	<u>153</u>		
<u>97</u>	<u>153</u>		
<u>98</u>	<u>153</u>		
<u>99</u>	<u>153</u>		
<u>100</u>	<u>153</u>		
<u>101</u>	<u>153</u>		
<u>102</u>	<u>153</u>		
<u>103</u>	<u>153</u>		
<u>104</u>	<u>153</u>		
<u>105</u>	<u>153</u>		
<u>106</u>	<u>153</u>		
<u>107</u>	<u>153</u>		
<u>108</u>	<u>153</u>		
<u>109</u>	<u>153</u>		
<u>110</u>	<u>153</u>		
<u>111</u>	<u>153</u>		
<u>112</u>	<u>153</u>		
<u>113</u>	<u>153</u>		
<u>114</u>	<u>153</u>		
<u>115</u>	<u>153</u>		
<u>116</u>	<u>153</u>		
<u>117</u>	<u>153</u>		
<u>118</u>	<u>153</u>		
<u>119</u>	<u>153</u>		
<u>120</u>	<u>153</u>		
<u>121</u>	<u>153</u>		
<u>122</u>	<u>153</u>		
<u>123</u>	<u>153</u>		
<u>124</u>	<u>153</u>		
<u>125</u>	<u>153</u>		

126	153			
127	153			
128	153			
129	153			
130	153			
131	153			
132	153			
133	153			
134	153			
135	153			
136	153			
137	153			
138	153			
139	153			
140	153			
141	153			
142	153			
143	153			
144	153			
145	153			

ハ 行政職給料表降格時号給対応表

降格した日の前日 に受けていた号給	降格後の号給				
	1級	2級	3級	4級	5級
1	33	17	17	9	9
2	33	18	18	10	10
3	33	19	19	11	11
4	34	20	20	12	12
5	35	21	21	13	13
6	36	22	22	14	14
7	37	23	23	15	15

<u>8</u>	<u>39</u>	<u>24</u>	<u>24</u>	<u>16</u>	<u>16</u>
<u>9</u>	<u>40</u>	<u>25</u>	<u>25</u>	<u>17</u>	<u>17</u>
<u>10</u>	<u>42</u>	<u>26</u>	<u>26</u>	<u>18</u>	<u>18</u>
<u>11</u>	<u>43</u>	<u>27</u>	<u>27</u>	<u>19</u>	<u>19</u>
<u>12</u>	<u>44</u>	<u>28</u>	<u>28</u>	<u>20</u>	<u>20</u>
<u>13</u>	<u>45</u>	<u>29</u>	<u>29</u>	<u>21</u>	<u>21</u>
<u>14</u>	<u>46</u>	<u>30</u>	<u>30</u>	<u>22</u>	<u>22</u>
<u>15</u>	<u>47</u>	<u>31</u>	<u>31</u>	<u>23</u>	<u>23</u>
<u>16</u>	<u>48</u>	<u>32</u>	<u>32</u>	<u>24</u>	<u>24</u>
<u>17</u>	<u>49</u>	<u>33</u>	<u>33</u>	<u>25</u>	<u>25</u>
<u>18</u>	<u>50</u>	<u>34</u>	<u>34</u>	<u>26</u>	<u>26</u>
<u>19</u>	<u>51</u>	<u>35</u>	<u>35</u>	<u>27</u>	<u>27</u>
<u>20</u>	<u>52</u>	<u>36</u>	<u>36</u>	<u>28</u>	<u>28</u>
<u>21</u>	<u>53</u>	<u>37</u>	<u>37</u>	<u>29</u>	<u>29</u>
<u>22</u>	<u>54</u>	<u>38</u>	<u>38</u>	<u>30</u>	<u>30</u>
<u>23</u>	<u>55</u>	<u>39</u>	<u>39</u>	<u>31</u>	<u>31</u>
<u>24</u>	<u>56</u>	<u>40</u>	<u>40</u>	<u>32</u>	<u>32</u>
<u>25</u>	<u>58</u>	<u>41</u>	<u>41</u>	<u>33</u>	<u>33</u>
<u>26</u>	<u>60</u>	<u>42</u>	<u>42</u>	<u>34</u>	<u>34</u>
<u>27</u>	<u>62</u>	<u>43</u>	<u>43</u>	<u>35</u>	<u>35</u>
<u>28</u>	<u>64</u>	<u>44</u>	<u>44</u>	<u>36</u>	<u>36</u>
<u>29</u>	<u>66</u>	<u>45</u>	<u>45</u>	<u>37</u>	<u>37</u>
<u>30</u>	<u>68</u>	<u>46</u>	<u>46</u>	<u>38</u>	<u>38</u>
<u>31</u>	<u>70</u>	<u>47</u>	<u>47</u>	<u>39</u>	<u>39</u>
<u>32</u>	<u>72</u>	<u>48</u>	<u>48</u>	<u>40</u>	<u>40</u>
<u>33</u>	<u>74</u>	<u>49</u>	<u>49</u>	<u>41</u>	<u>41</u>
<u>34</u>	<u>76</u>	<u>50</u>	<u>50</u>	<u>42</u>	<u>42</u>
<u>35</u>	<u>78</u>	<u>51</u>	<u>51</u>	<u>43</u>	<u>43</u>
<u>36</u>	<u>80</u>	<u>52</u>	<u>52</u>	<u>44</u>	<u>44</u>
<u>37</u>	<u>82</u>	<u>53</u>	<u>53</u>	<u>45</u>	<u>45</u>

<u>38</u>	<u>84</u>	<u>54</u>	<u>54</u>	<u>46</u>	<u>46</u>
<u>39</u>	<u>86</u>	<u>55</u>	<u>55</u>	<u>47</u>	<u>47</u>
<u>40</u>	<u>88</u>	<u>56</u>	<u>56</u>	<u>48</u>	<u>48</u>
<u>41</u>	<u>90</u>	<u>58</u>	<u>57</u>	<u>49</u>	<u>50</u>
<u>42</u>	<u>92</u>	<u>60</u>	<u>58</u>	<u>50</u>	<u>52</u>
<u>43</u>	<u>93</u>	<u>62</u>	<u>59</u>	<u>51</u>	<u>54</u>
<u>44</u>	<u>93</u>	<u>64</u>	<u>60</u>	<u>52</u>	<u>56</u>
<u>45</u>	<u>93</u>	<u>66</u>	<u>63</u>	<u>53</u>	<u>58</u>
<u>46</u>	<u>93</u>	<u>68</u>	<u>66</u>	<u>54</u>	<u>60</u>
<u>47</u>	<u>93</u>	<u>70</u>	<u>69</u>	<u>55</u>	<u>62</u>
<u>48</u>	<u>93</u>	<u>72</u>	<u>72</u>	<u>56</u>	<u>64</u>
<u>49</u>	<u>93</u>	<u>76</u>	<u>75</u>	<u>57</u>	<u>66</u>
<u>50</u>	<u>93</u>	<u>80</u>	<u>78</u>	<u>58</u>	<u>76</u>
<u>51</u>	<u>93</u>	<u>84</u>	<u>81</u>	<u>59</u>	<u>88</u>
<u>52</u>	<u>93</u>	<u>88</u>	<u>84</u>	<u>60</u>	<u>92</u>
<u>53</u>	<u>93</u>	<u>93</u>	<u>88</u>	<u>61</u>	<u>93</u>
<u>54</u>	<u>93</u>	<u>98</u>	<u>92</u>	<u>62</u>	<u>93</u>
<u>55</u>	<u>93</u>	<u>103</u>	<u>97</u>	<u>63</u>	<u>93</u>
<u>56</u>	<u>93</u>	<u>109</u>	<u>102</u>	<u>64</u>	<u>93</u>
<u>57</u>	<u>93</u>	<u>115</u>	<u>107</u>	<u>65</u>	<u>93</u>
<u>58</u>	<u>93</u>	<u>121</u>	<u>112</u>	<u>66</u>	<u>93</u>
<u>59</u>	<u>93</u>	<u>125</u>	<u>113</u>	<u>67</u>	<u>93</u>
<u>60</u>	<u>93</u>	<u>125</u>	<u>113</u>	<u>68</u>	<u>93</u>
<u>61</u>	<u>93</u>	<u>125</u>	<u>113</u>	<u>69</u>	<u>93</u>
<u>62</u>	<u>93</u>	<u>125</u>	<u>113</u>	<u>70</u>	<u>93</u>
<u>63</u>	<u>93</u>	<u>125</u>	<u>113</u>	<u>71</u>	<u>93</u>
<u>64</u>	<u>93</u>	<u>125</u>	<u>113</u>	<u>72</u>	<u>93</u>
<u>65</u>	<u>93</u>	<u>125</u>	<u>113</u>	<u>73</u>	<u>93</u>
<u>66</u>	<u>93</u>	<u>125</u>	<u>113</u>	<u>74</u>	<u>93</u>
<u>67</u>	<u>93</u>	<u>125</u>	<u>113</u>	<u>75</u>	<u>93</u>

<u>68</u>	<u>93</u>	<u>125</u>	<u>113</u>	<u>80</u>	<u>93</u>
<u>69</u>	<u>93</u>	<u>125</u>	<u>113</u>	<u>85</u>	<u>93</u>
<u>70</u>	<u>93</u>	<u>125</u>	<u>113</u>	<u>88</u>	<u>93</u>
<u>71</u>	<u>93</u>	<u>125</u>	<u>113</u>	<u>89</u>	<u>93</u>
<u>72</u>	<u>93</u>	<u>125</u>	<u>113</u>	<u>90</u>	<u>93</u>
<u>73</u>	<u>93</u>	<u>125</u>	<u>113</u>	<u>91</u>	<u>93</u>
<u>74</u>	<u>93</u>	<u>125</u>	<u>113</u>	<u>92</u>	<u>93</u>
<u>75</u>	<u>93</u>	<u>125</u>	<u>113</u>	<u>93</u>	<u>93</u>
<u>76</u>	<u>93</u>	<u>125</u>	<u>113</u>	<u>93</u>	<u>93</u>
<u>77</u>	<u>93</u>	<u>125</u>	<u>113</u>	<u>93</u>	<u>93</u>
<u>78</u>	<u>93</u>	<u>125</u>	<u>113</u>	<u>93</u>	<u>93</u>
<u>79</u>	<u>93</u>	<u>125</u>	<u>113</u>	<u>93</u>	<u>93</u>
<u>80</u>	<u>93</u>	<u>125</u>	<u>113</u>	<u>93</u>	<u>93</u>
<u>81</u>	<u>93</u>	<u>125</u>	<u>113</u>	<u>93</u>	<u>93</u>
<u>82</u>	<u>93</u>	<u>125</u>	<u>113</u>	<u>93</u>	<u>93</u>
<u>83</u>	<u>93</u>	<u>125</u>	<u>113</u>	<u>93</u>	<u>93</u>
<u>84</u>	<u>93</u>	<u>125</u>	<u>113</u>	<u>93</u>	<u>93</u>
<u>85</u>	<u>93</u>	<u>125</u>	<u>113</u>	<u>93</u>	<u>93</u>
<u>86</u>	<u>93</u>	<u>125</u>	<u>113</u>	<u>93</u>	
<u>87</u>	<u>93</u>	<u>125</u>	<u>113</u>	<u>93</u>	
<u>88</u>	<u>93</u>	<u>125</u>	<u>113</u>	<u>93</u>	
<u>89</u>	<u>93</u>	<u>125</u>	<u>113</u>	<u>93</u>	
<u>90</u>	<u>93</u>	<u>125</u>	<u>113</u>	<u>93</u>	
<u>91</u>	<u>93</u>	<u>125</u>	<u>113</u>	<u>93</u>	
<u>92</u>	<u>93</u>	<u>125</u>	<u>113</u>	<u>93</u>	
<u>93</u>	<u>93</u>	<u>125</u>	<u>113</u>	<u>93</u>	
<u>94</u>	<u>93</u>	<u>125</u>			
<u>95</u>	<u>93</u>	<u>125</u>			
<u>96</u>	<u>93</u>	<u>125</u>			
<u>97</u>	<u>93</u>	<u>125</u>			

98	93	125			
99	93	125			
100	93	125			
101	93	125			
102	93	125			
103	93	125			
104	93	125			
105	93	125			
106	93	125			
107	93	125			
108	93	125			
109	93	125			
110	93	125			
111	93	125			
112	93	125			
113	93	125			
114	93				
115	93				
116	93				
117	93				
118	93				
119	93				
120	93				
121	93				
122	93				
123	93				
124	93				
125	93				

二 医療職給料表降格時号給対応表
 降格した日の前日 降格後の号給

に受けていた号給	1級	2級	3級	4級
1	21	17	13	17
2	22	18	14	18
3	23	19	15	19
4	24	20	16	20
5	25	21	17	21
6	26	22	18	22
7	27	23	19	23
8	28	24	20	24
9	29	25	21	25
10	30	26	22	26
11	31	27	23	27
12	32	28	24	28
13	33	29	25	29
14	34	30	26	30
15	35	31	27	31
16	36	32	28	32
17	37	33	29	33
18	38	34	30	34
19	39	35	31	35
20	40	36	32	36
21	41	37	33	37
22	42	38	34	38
23	43	39	35	39
24	44	40	36	40
25	45	41	37	41
26	46	42	38	42
27	47	43	39	43
28	48	44	40	44
29	50	45	41	45

<u>30</u>	<u>52</u>	<u>46</u>	<u>42</u>	<u>46</u>
<u>31</u>	<u>54</u>	<u>47</u>	<u>43</u>	<u>47</u>
<u>32</u>	<u>56</u>	<u>48</u>	<u>44</u>	<u>48</u>
<u>33</u>	<u>58</u>	<u>49</u>	<u>45</u>	<u>50</u>
<u>34</u>	<u>60</u>	<u>50</u>	<u>46</u>	<u>52</u>
<u>35</u>	<u>62</u>	<u>51</u>	<u>47</u>	<u>54</u>
<u>36</u>	<u>64</u>	<u>52</u>	<u>48</u>	<u>56</u>
<u>37</u>	<u>65</u>	<u>53</u>	<u>49</u>	<u>57</u>
<u>38</u>	<u>66</u>	<u>54</u>	<u>50</u>	<u>58</u>
<u>39</u>	<u>67</u>	<u>55</u>	<u>51</u>	<u>59</u>
<u>40</u>	<u>68</u>	<u>56</u>	<u>52</u>	<u>60</u>
<u>41</u>	<u>70</u>	<u>57</u>	<u>53</u>	<u>63</u>
<u>42</u>	<u>72</u>	<u>58</u>	<u>54</u>	<u>66</u>
<u>43</u>	<u>74</u>	<u>59</u>	<u>55</u>	<u>69</u>
<u>44</u>	<u>76</u>	<u>60</u>	<u>56</u>	<u>72</u>
<u>45</u>	<u>79</u>	<u>61</u>	<u>57</u>	<u>76</u>
<u>46</u>	<u>82</u>	<u>62</u>	<u>58</u>	<u>80</u>
<u>47</u>	<u>85</u>	<u>63</u>	<u>59</u>	<u>84</u>
<u>48</u>	<u>85</u>	<u>64</u>	<u>60</u>	<u>90</u>
<u>49</u>	<u>85</u>	<u>65</u>	<u>61</u>	<u>96</u>
<u>50</u>	<u>85</u>	<u>66</u>	<u>62</u>	<u>102</u>
<u>51</u>	<u>85</u>	<u>67</u>	<u>63</u>	<u>105</u>
<u>52</u>	<u>85</u>	<u>68</u>	<u>64</u>	<u>105</u>
<u>53</u>	<u>85</u>	<u>70</u>	<u>65</u>	<u>105</u>
<u>54</u>	<u>85</u>	<u>72</u>	<u>66</u>	<u>105</u>
<u>55</u>	<u>85</u>	<u>74</u>	<u>67</u>	<u>105</u>
<u>56</u>	<u>85</u>	<u>76</u>	<u>68</u>	<u>105</u>
<u>57</u>	<u>85</u>	<u>78</u>	<u>69</u>	<u>105</u>
<u>58</u>	<u>85</u>	<u>80</u>	<u>70</u>	<u>105</u>
<u>59</u>	<u>85</u>	<u>82</u>	<u>71</u>	<u>105</u>

<u>60</u>	<u>85</u>	<u>84</u>	<u>72</u>	<u>105</u>
<u>61</u>	<u>85</u>	<u>91</u>	<u>74</u>	<u>105</u>
<u>62</u>	<u>85</u>	<u>98</u>	<u>76</u>	<u>105</u>
<u>63</u>	<u>85</u>	<u>105</u>	<u>78</u>	<u>105</u>
<u>64</u>	<u>85</u>	<u>105</u>	<u>80</u>	<u>105</u>
<u>65</u>	<u>85</u>	<u>105</u>	<u>82</u>	<u>105</u>
<u>66</u>	<u>85</u>	<u>105</u>	<u>84</u>	<u>105</u>
<u>67</u>	<u>85</u>	<u>105</u>	<u>86</u>	<u>105</u>
<u>68</u>	<u>85</u>	<u>105</u>	<u>88</u>	<u>105</u>
<u>69</u>	<u>85</u>	<u>105</u>	<u>89</u>	<u>105</u>
<u>70</u>	<u>85</u>	<u>105</u>	<u>90</u>	<u>105</u>
<u>71</u>	<u>85</u>	<u>105</u>	<u>91</u>	<u>105</u>
<u>72</u>	<u>85</u>	<u>105</u>	<u>92</u>	<u>105</u>
<u>73</u>	<u>85</u>	<u>105</u>	<u>94</u>	<u>105</u>
<u>74</u>	<u>85</u>	<u>105</u>	<u>113</u>	<u>105</u>
<u>75</u>	<u>85</u>	<u>105</u>	<u>113</u>	<u>105</u>
<u>76</u>	<u>85</u>	<u>105</u>	<u>113</u>	<u>105</u>
<u>77</u>	<u>85</u>	<u>105</u>	<u>113</u>	<u>105</u>
<u>78</u>	<u>85</u>	<u>105</u>	<u>113</u>	<u>105</u>
<u>79</u>	<u>85</u>	<u>105</u>	<u>113</u>	<u>105</u>
<u>80</u>	<u>85</u>	<u>105</u>	<u>113</u>	<u>105</u>
<u>81</u>	<u>85</u>	<u>105</u>	<u>113</u>	<u>105</u>
<u>82</u>	<u>85</u>	<u>105</u>	<u>113</u>	<u>105</u>
<u>83</u>	<u>85</u>	<u>105</u>	<u>113</u>	<u>105</u>
<u>84</u>	<u>85</u>	<u>105</u>	<u>113</u>	<u>105</u>
<u>85</u>	<u>85</u>	<u>105</u>	<u>113</u>	<u>105</u>
<u>86</u>	<u>85</u>	<u>105</u>	<u>113</u>	
<u>87</u>	<u>85</u>	<u>105</u>	<u>113</u>	
<u>88</u>	<u>85</u>	<u>105</u>	<u>113</u>	
<u>89</u>	<u>85</u>	<u>105</u>	<u>113</u>	

90	85	105	113	
91	85	105	113	
92	85	105	113	
93	85	105	113	
94	85	105	113	
95	85	105	113	
96	85	105	113	
97	85	105	113	
98	85	105	113	
99	85	105	113	
100	85	105	113	
101	85	105	113	
102	85	105	113	
103	85	105	113	
104	85	105	113	
105	85	105	113	
106		105		
107		105		
108		105		
109		105		
110		105		
111		105		
112		105		
113		105		

備考 これらの表の降格後の号給中「1級」等とあるのは、その者が降格した職務の級を示す。

附 則

この規則は、令和五年四月一日から施行する。
令和四年十月二十八日提出

理由

秋田県教育委員会教育長 安田浩幸

地方公務員法の一部を改正する法律（令和三年法律第六十三号）の施行等に鑑み、職員を降格させる場合の職務の級及び降格後の号給の取り扱いについて、一般職の国家公務員に準じて定める等の必要がある。これが、この規則案を提出する理由である。

市町村立学校職員の給与等に関する規則の一部を改正する規則案要綱

1 改正理由

地方公務員法の一部を改正する法律（令和3年法律第63号）の施行等に鑑み、職員を降格させる場合の職務の級及び降格後の号給の取り扱いについて、一般職の国家公務員に準じて定める等の必要がある。

2 改正内容

- (1) 職員を降格させる場合（職員から書面による同意を得た場合を含む。）は、その職務の級に応じ、下位の職務の級に決定することとする。（第25条関係）
- (2) 職員を降格させた場合の号給は、その者に適用される給料表の別に応じ、かつ、降格した日の前日に受けていた号給に対応して定めることとする。（第25条の2関係）
- (3) (2)により降格した場合の号給は、降格時号給対応表に定める号給とすることとする。（別表第9の2関係）
- (4) 第9章の4において用いる用語の定義を定めることとする。（第74条の13関係）
- (5) 市町村立学校職員の給与等に関する条例（昭和28年秋田県条例第59号。以下「条例」という。）附則第4項の県の教育委員会が県の人事委員会と協議して定める職員の範囲を定めることとする。（第74条の14関係）
- (6) 異動日（他の職への降任等をされた職員で当該他の職への降任等をされた日）の前日から引き続き給料表の適用を受ける職員であつて条例附則第4項による差額を給料として支給される職員との権衡上必要があると認められる職員の範囲を定めるとともに、当該職員に対して支給される当該差額に相当する額の算出方法等について定めることとする。（第74条の15から第74条の17まで関係）
- (7) 任用の事情を考慮して条例附則第4項の規定による差額を給料として支給される職員との権衡上必要があると認められる職員の範囲を定めるとともに、当該職員に対して支給される当該差額に相当する額の算出方法等について定めることとする。（第74条の18から第74条の21まで関係）
- (8) 条例附則第4項等の規定による給料の支給について、特別の事情があるときは、あらかじめ人事委員会の承認を得て、別段の取り扱いをすることができる

こととする。(第74条の22関係)

(9) その他所要の規定の整備を行うこととする。

3 施行期日

この規則は、令和5年4月1日から施行することとする。